

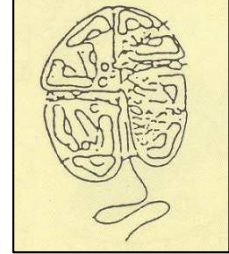
赤潮注意報(第3報)

平成30年(2018年)8月15日
山口県水産振興課

漁業者の皆様へ

徳山湾・笠戸湾で魚類を斃死させる カレニア ミキモトイが発生しています！

調査日	平成30年(2018年)8月15日(水)
発生海域	徳山湾・笠戸湾
赤潮構成種	カレニア ミキモトイ (<i>Karenia mikimotoi</i>) (好適水温: 22~27℃、好適塩分: 20~30psu)
着色海域の色	暗褐色



大きさ: 25~35 μm × 23~33 μm

調査結果

観測場所	細胞数	備考
県漁協新南陽市支店前	8個/ml	8月15日 13:06 28.8℃ 水深1m
徳山港(周南地方卸売市場水産物市場前)	7個/ml	8月15日 11:24 26.6℃ 水深1m
県漁協櫛ヶ浜支店前	634個/ml	8月15日 11:00 27.4℃ 水深1m
県漁協下松支店前	0個/ml	8月15日 10:55 26.4℃ 水深2.5m
下松市栽培漁業センター前	0個/ml	8月15日 10:35 27.2℃ 水深3m
笠戸湾(三百瀬)	0個/ml	8月15日 — 26.3℃ 水深5m

【赤潮注意報: 100個/ml以上、赤潮警報(魚類斃死目安): 5,000個/ml】

特記事項

- 本種は過去、**本県で最も大きな漁業被害が発生**したプランクトンです。
- 本種は中層・底層を中心に増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すことから、海面からの観察では海水の着色が判別しにくいプランクトンです。
- このため、**海面が着色していなくても、魚介類の斃死を起こすことがあります**ので、十分に注意して下さい。
- また、**室内実験ではアワビは150個/mlで衰弱、死亡が確認**されています。

留意事項

- 今後は、漁港内での蓄養は避けて、活けメ出荷等の対策を講じてください。また、養殖魚等は深い生け簀を活用し、赤潮発生時には代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。
- 漁船の活け間内のスカッパを閉めて航行するなど、赤潮を含んだ海水が流入しないよう注意してください。
- なお、県は引き続き調査を実施して参りますので、赤潮の発生・魚介類の斃死などが確認された場合は、漁協を通じて関係市・農林水産事務所に速やかに通報してください。
- また、赤潮による漁獲物の斃死等については、漁業被害救済基金の対象となる場合がありますので、漁獲物の処分等は行わず(被害数量等の確認が必要のため)、速やかに漁協を通じて関係市町・農林水産事務所に通報してください。

※県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。
→ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/suisan-s/akashio.html>

注意報(第3報)
【カレニア ミキモトイ】

平成30年8月15日

